

平成28年度第3回 倫理審査委員会

平成28年7月11日

受付番号28-04

申請者	北4病棟看護師	加藤 佳代子
課題名	「認知症状のある患者の対応における看護師のストレス要因の調査」	
研究の概要	<p>認知症状のある患者が多く、その症状も様々である。患者に合わせた言葉のかけ方や訴えに対して対応する時間が十分に取れずに患者は穏やかに過ごせない状況もある。そのような場面では、看護師の精神的な負担が大きく、多くのストレスを感じながら試行錯誤している。ストレスは、各個人により受け方も様々であると考えられる。性格タイプ別行動パターンによる性格診断をもとに、どのような症状に対しストレスを感じているか調査し明らかにする。</p>	
判定	保留	

受付番号28-05

申請者	北2病棟看護師	青木 明百
課題名	「患者急変時に看護師が抱く不安・意識調査」	
研究の概要	<p>重症心身障害児(者)病棟では、患者の殆どが体調不良等、自分で訴えることができないうえ、心疾患、痙攣発作を有する患者、人工呼吸器装着患者などは急変リスクを有している。これまで患者の急変は年に1~2件程度でスタッフが急変に対応する機会が少なかったが、病棟で患者の急変が2名続いたことから、急変対応への不安の声が聞かれた。スタッフの不安を軽減し、急変への柔軟な対応に繋げるため、急変時に直面する看護師が抱く不安要因を調査・分析する。</p>	
判定	保留	

受付番号 28 - 06

申請者	北1病棟看護師	小比類巻 敦子
課題名	「重症心身障害児（者）に関わる職種ごとの危険予知に対する視点」	
研究の概要	<p>重症心身障害児(者)病棟には、看護師、療養介助員など多職種が関わっており、職種間のチーム医療と連携が重要になる。昨年1年間に発生した3件の骨折事例が繰り返し発生したことを踏まえ、情報共有することでチームとしての連携を強め、今後の患者ケアに繋げるため、職種や経験の違いにおいて、危険予知の視点に差はあるのかを明らかにする。</p>	
判定	条件付承認	

受付番号 28 - 07

申請者	西1病棟看護師	大類 宏香
課題名	「VTE発生予防における正しい圧迫療法を実施するための知識調査」	
研究の概要	<p>VTE発症リスクの高い患者に対し、薬物療法や理学療法で予防に努める。整形外科手術においては、手術時の麻酔による不動等により血流の鬱滞が生じやすいうえ、高齢者や骨折を伴っている患者が多いため血栓形成のリスクが非常に高いため、看護師の理学療法への適正で積極的な介入が大きなポイントになると考えられる。正しい圧迫療法を実施するため弾性ストッキングとフットケアに対する看護師の知識や疑問点を明らかにする。</p>	
判定	条件付承認	

受付番号 28-08

申請者	呼吸器内科医長	長谷 衣佐乃
課題名	「ベトナム人実習生における結核スクリーニング検査としてのIGRAの有用性」	
研究の概要	<p>近年、日本企業における外国人雇用は著しく増加し、ベトナムは本邦において2番目に多く、特に増加傾向がみられる外国人労働者の国籍であるが、アジアで有数の結核蔓延国でもある。IGRAは、ツベルクリン反応に代わる結核感染の検査法の一つで、採血で行われる優れた検査法であるが、活動性結核と陳旧性結核の区別はできないこと、コストが高いことから、中-低所得国においてはスクリーニング検査に適さないとされ、日本国内への入国前検査はもっぱら胸部X線で行われている。今回、ベトナム人実習生に対して企業が自主的に行った結核検診でIGRAを施行した結果、想定より多くの活動性肺結核患者が存在することが判明した。外国人労働者に対する結核検診でのIGRAを実施について調査する。</p>	
判定	条件付承認	